

TCFDに基づく開示

項目	活動内容	参照先
ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> ● 社長を委員長とする「環境政策委員会」が、経営視点で気候変動を含む環境方針・戦略を策定・承認し、進捗状況を確認(1回/年) ● その環境方針・戦略を「環境委員会」が国内外の製造・営業拠点へ展開し、相互内部環境監査で実施状況を確認 ● 「ESG会議」と連携を図りながら、気候変動施策を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境政策と推進体制
戦略	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業活動に関わるリスクと機会を抽出し、重要性評価を行い、気候変動対応を重点課題として設定 ● 2050年のあるべき姿として「事業活動におけるライフサイクル全体を通して“環境負荷ゼロ”を実現」を目指し、「商品」と「モノづくり」の両面から環境に取り組む ● 「商品」では、ネット・ゼロ・エネルギー住宅・ビルの実現に貢献する高断熱窓の開発・販売・普及推進 ● 「モノづくり」では、気候変動リスクに対応し、エネルギー削減・資源循環等に取り組む 	<ul style="list-style-type: none"> ● トップメッセージ ● 環境政策と推進体制
リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> ● 気候関連リスクとして、エネルギー価格の上昇や自然災害による被害増加、サプライチェーンの分断などを想定し、「リスク委員会」「危機管理委員会」と連携して管理 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境政策と推進体制 ● エネルギー削減
指標と目標	<ul style="list-style-type: none"> ● SBTに認定された中長期環境目標を設定 ● 長期環境目標を達成するための環境行動計画を中期事業計画にあわせて設定 ● 高断熱窓の普及による削減貢献量の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ● 目標と実績 ● エネルギー削減